

<b>横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨</b>	
<b>日 時</b>	令和3年1月7日(木) 19時00分～20時00分
<b>開催場所</b>	市庁舎10階 危機管理センター本部会議室
<b>出席者</b>	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長、</p> <p>【区】 鶴見区長、南区長、瀬谷区長</p> <p>【その他】 危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
<b>開催形態</b>	マスコミ公開
<b>議 事</b>	<p><b>開 会</b></p> <p><u>1 国、県の対処方針について&lt;本部運営調整チーム&gt;</u> 資料1に沿って説明【危機管理室長】</p> <p><u>2 市内の状況について</u></p> <p>(1) <b>感染発生等の状況&lt;健康福祉局&gt;</b> 資料2に沿って説明【健康福祉局長】 ・直近1週間の感染者数が先週1週間より少ないのは、PCR検査数が少ない正月を含んでいるためと考えられる。</p> <p>(2) <b>医療提供体制の状況&lt;医療局&gt;</b> 資料3に沿って説明【医療局長】 ・感染者数の増加に比べ、重傷者数の増加を抑えられているのは、新型コロナウイルスの治療法がかなり確立されてきているからでないかと考えている。 ・Y-CERT年末年始特別チーム対応結果(会議資料20頁)に関し、転院搬送調整等の件数は一見少なく見えるが、実は1件1件非常に手間がかかる調整を行っている。 ・救急件数は例年より少ないが、新型コロナウイルスの中等症患者が著しく増加しているため、病院調整が難航している。そのような状況の中でも病床を維持していくため、コロナ患者の受入れ病床の増加を図っていく。</p> <p>≪確認事項≫ ・Y-CERTの活動により、引き続き機動的な病床有効利用を行っていくが、医師や看護師等の現場の医療従事者はどのような状況か。【本部長】 ➡現時点では、通常診療と新型コロナウイルスに対する診療の両立はできているが、新型コロナウイルスの診療を担当している医師・看護師は非常に疲弊している。その理由として、感染防御しながら治療しなければならないという負担や、患者の呼吸器系の管理が必要となるため多くの人数が必要となる点が挙げられる。また、ダイヤモンド・プリンセス号事案の時から対応が続いているため、医師・看護師のストレスがかなり溜まっていると聞いている。【医療局長】</p>

	<p><b>3 緊急事態宣言発出時の本市の対応について</b></p> <p>(1) <b>市民利用施設やイベント等の対応&lt;本部運営調整チーム&gt;</b> 資料4に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>≪確認事項≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民利用施設の利用者に対して会食自粛を依頼する」とはどういうことか。【本部長】</li> <li>➡「利用前後の会食を控えることや、会場内で飲食する際も飛沫等にしっかり気を付けていただきたい」という意味である。【危機管理室長】</li> </ul> <p>(2) <b>市立学校の対応&lt;教育委員会事務局&gt;</b> 資料5に沿って説明【教育長】</p> <p>(3) <b>組織運営等&lt;総務局&gt;</b> 資料6に沿って説明【総務局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の緊急事態宣言、県の基本方針に基づき、組織運営を行っていく。</li> <li>・本日、組織運営に関する副市長通知を发出する。</li> </ul> <p>≪指示事項≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁あげてコロナ対応の部署を支援するとともに、出勤削減について、各局長と調整して進めていくこと。【本部長】</li> </ul> <p>(4) <b>Y-CERT特別チームの編成&lt;医療局&gt;</b> 資料7に沿って説明【医療局長】</p> <p><b>4 本部長指示</b> 別紙のとおり</p> <p><b>5 その他</b></p> <p>【本部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所の人員体制は、非常に厳しい状況かと思う。各区の現状について伺いたい。</li> </ul> <p>【鶴見区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴見区は市内4番目に感染者が多い区である。</li> <li>・健康福祉局と連携し継続できる体制を取っていく。</li> </ul> <p>【南区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南区では、年末に感染者数が急増し、急遽人員を増やして対応した。</li> <li>・事務職員等を含め、ほぼ全課による応援体制で対応している。</li> </ul> <p>【瀬谷区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者数は他の区に比べて少ないが、もともと職員数が少ないので、区をあげて対応している。感染者数が急増した年末年始も応援体制をとって対応した。</li> </ul> <p>【城副市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応援体制をしっかりと構築すること。</li> <li>・各病院に対し、病床を確保するよう呼びかけること。</li> </ul> <p>閉 会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p><b>1 資 料</b></p> <p>≪国、県の対処方針について≫</p> <p>資料1 国、県の対処方針について【本部運営調整チーム】</p> <p>≪市内の状況について≫</p> <p>資料2 感染発生等の状況【健康福祉局】</p> <p>資料3 医療提供体制の状況【医療局】</p> <p>≪緊急事態宣言を受けた本市の対応について≫</p>

資料4 市民利用施設やイベント等の対応【本部運営調整チーム】

資料5 市立学校の対応【教育委員会事務局】

資料6 組織運営等【総務局】

資料7 Y-CERT特別チームの編成【医療局】

**2 特記事項**

なし

本日、政府は、神奈川県を含む首都圏の1都3県を対象に、2度目となる緊急事態宣言を発出しました。これまで国や県、市民の皆様と力を合わせて感染症対策に力を注ぎ、また医療従事者の皆様には、年末年始も休みを返上して対応いただいた中、再びこのような事態となり、この未知のウイルスとの闘いの難しさを痛感しています。

現在、横浜市で入院されている方のうち、重症の方は4%・28人、中等症の方は15%・89人、残りの81%は軽症・無症状の方で507人です。市内で準備している重症・中等症用の病床500床は、179床が使用されており、稼働率は35.8%となっています。

横浜市では、以前から市内の高度医療機関が連携して救急患者の受入れを行っており、しっかりとした医療提供体制が整っています。入院を要する感染者の方々は増えていますが、こうした連携とY-CERT（ワイ・サート）の活動により、コロナ禍でも、陽性患者さんの治療と一般診療を両立させ、医療提供体制を維持できています。

本日の新規感染者数は156人です。低めに感じますが、直近1週間では1,173人と、高い水準が続いています。このような状況が続くと、最前線で力を尽くしてくださっている医療従事者の皆様の負担は、ますます重くなっていきます。何としても感染拡大を抑え込み、医療提供体制を維持していかなければなりません。また、大変厳しい状況にある事業者の皆様のために、一刻も早く緊急事態宣言の解除を実現する必要があります。

横浜市は、国や神奈川県の方針に基づき、市民利用施設の利用は、来週12日から、原則20時までとします。また、市主催のイベントは、人数上限5,000人かつ収容率50%以下とします。

学校の一斉臨時休校は行わず、感染予防を再徹底し、児童生徒・教職員の健康に十分に留意した上で、教育活動を継続します。部活動や行事は、感染リスクを見極めて判断していきます。

年末年始で強化したY-CERT（ワイ・サート）の体制は継続し、医師が常駐します。引き続き市内医療機関や神奈川県と連携して、医療提供体制を維持していきます。また、市民の皆様の命を守るワクチン接種を円滑に進めていくため、健康福祉局にワクチン対応チームを立ち上げました。今後、各局・統括本部から職員を配置し、体制をさらに強化していきます。

各本部員に指示します。これ以上の感染を必ず食い止めるという覚悟を持って、リーダーシップを一層発揮してください。市民、事業者の皆様や関係する団体・業界等の皆様に、緊急事態宣言の趣旨への十分なお理解・ご協力を得られるよう、あらゆる機会やツールを用いて、積極的な広報、呼び掛けを行ってください。

また、各職場や各区局が所管する施設においても、感染防止策を再徹底し、それぞれの状況に応じて、在宅勤務の促進、フレックスタイムやランチシフトの活用、会食の自粛に、率先して取り組んでください。

感染拡大を食い止めるには、一人ひとりが、気を緩めることなく感染症対策を徹底し、

新たな感染者の発生を抑えることが何よりも重要です。

市民の皆様に改めてお願いいたします。人との接触機会を極力減らすため、生活に必要な場合を除く外出は控え、特に 20 時以降の不要不急の外出は自粛してください。飲酒を伴う懇親会、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、休憩室・喫煙所・更衣室に入ったときなど、感染リスクが高まる「5つの場面」を避け、在宅勤務や時差出勤にもご協力ください。室内の換気や3密の回避、手洗い・消毒、マスクの着用など、基本的な感染防止策を徹底してください。

事業者の皆様にもお願いいたします。飲食店等の 20 時までの時短営業や、イベントの開催制限など、国・県の方針で求められている事項にご協力ください。業種別ガイドラインを参考に、感染防止策の徹底をお願いいたします。「出勤者数の7割削減」を目指し、テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をお願いいたします。

横浜市は今後も、国や県、医療機関の皆様と連携して、市民の皆様の命と暮らしをお守りしてまいります。少しでも早く宣言解除の日を迎え、日常を取り戻せるよう、ご一緒に力を合わせて、この状況を乗り越えてまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。